

## 和歌山大学南紀熊野サテライト 未来戦略四期計画

### I. 未来戦略四期計画の策定について

「地域の知の拠点」としてのサテライトを確立するための計画とし、大学の学部、大学院教育の機会提供だけでなく、紀南地域をフィールドとした「課題解決・地域価値創造」に資する教育（人材育成）、研究（理論と実践）、実践（政策と地域振興）等種々の発展のため、本計画を策定する。

### II. 重点項目

上記の目的のため、未来戦略四期計画において、以下の3項目を重点項目とする。

1. 既存の仕組みの見直し・連携基盤の再構築
2. 存立基盤の強化のために学内外の連携を強化
3. 戦略的広報のための情報収集・発信の強化

### III. 連携事業

本計画を実施するため、三期に引き続き、以下の3つのグループを設定し、具体的な事業に取り組む。

1. 学校型事業（講義、公開講座の実施等）
2. 非学校型事業（地域課題の発見・解決、大学の地域資源と地域連携のサポート等）
3. 組織基盤の強化（持続可能な連携組織づくり）

### IV. 具体的アクションプランの策定について

未来戦略四期計画を達成するための具体的なアクションプラン策定は、企画運営委員と協議の上で実施する。その中で、今後の発展的な地域連携、地域課題解決等に向けた具体的な実践項目として、三期計画の16項目の見直し・現状と課題の確認等、策定プランの分析を行った上で、改めて12項目を策定し、事業の進行管理を行う。

また、それぞれのプランがどの程度実現したのかを客観的に表現できる指標を設定する。今後、本計画を基に年度毎に見直し・改善を図り、翌年の連携事業に反映する。

### V. 策定スケジュール

連携協議会総会に骨子案提出、秋に成案を目指す。令和4年度より、アクションプランの策定及び準備期間を含み、実施期間を令和4年4月～令和10年3月末迄の6年間とする。

和歌山大学南紀熊野サテライト  
みらい戦略四期計画アクションプログラム 素案12項目

1、学校型事業（授業講座、人材育成）

主に、人材育成を目的とした事業：大学院、学部授業、公開講座、サイエンス、観光塾等

- 【1-1】 実践力のある人材育成、リカレント教育の促進
- 【1-2】 受講ニーズを反映した授業編成の改善
- 【1-3】 県内外の小中高大の連携強化、学生のフィールド教育支援
- 【1-4】 公開講座の充実、開講形態、開講場所の多様化促進

2、非学校型事業（地域連携、地域貢献）

主に、地域連携、地域貢献事業：地域課題の発見、解決、地域資源活用、地域連携支援等

- 【2-1】 自治体との情報連携強化、地域連携情報収集の強化
- 【2-2】 産学官連携、地域での共同研究、教育、研究プロジェクト支援
- 【2-3】 学生（教員）の地域交流活動の支援、地域情報の提供
- 【2-4】 研究会、学会、現地報告会等の支援、活動成果の発信、授業化、社会実装

3、組織基盤強化（組織連携、広報戦略）

主に、持続可能な連携組織づくり等

- 【3-1】 更なる「知の拠点」へ既存の組織や修了生と連携
- 【3-2】 他大学、機関と連携した活動推進
- 【3-3】 同窓会組織や修了生と連携、「知の循環」を推進する活動支援
- 【3-4】 戦略的な広報、PR ツール強化、地域振興の取組みに参画